

お客様に真田紐の持つ
「安心」という魅力を
お伝えしていく

坂本織物 株式会社

711-0904 岡山県倉敷市児島唐琴3-13-21
<http://www.sanadahimo.info/> 086-477-6340

在籍する職種 企画・織柄デザイン / 営業 / 商品開発
販売 / 総務 / 経理

暮らしの中に、 新しい真田紐の姿を探し続けます。

坂本織物は、昭和44年創業の真田紐をはじめとする細幅織物を製造する会社です。当初は、力織機(旧式の織機)を使いファスナー用テープ、インサイドベルト等を製造していましたが、時代やニーズの変化とともに高速織機を導入し、鞆用テープや資材用細幅織物、手芸用テープなどを生産しています。2011年に、2代目専務である坂本早苗さんは後継者不足が顕著になっていた「真田紐」の生産を開始します。そのきっかけは、図書館でたまたま手にした郷土史に「真田紐は児島唐琴の特産品」と書かれてあったこと。その後「江戸時代から続く地元の特産品を守らなくては」という思いは段々と強くなっていき、当時、児島で唯一真田紐を織っていた三福織物株の石原社長のもとを尋ね、今は製造されていない力織機を1台譲り受け、指導を受けながら自ら織るようになりました。1台の力織機で始めた真田紐の生産も、石原社長から少しずつ譲り受けていき、10台体制にまで拡大。現在では岡山県で唯一の真田紐の織元となっています。

「真田紐」は、きつくテンションをかけた経糸に、太い横糸を

絡めていく世界で最も幅の細い織物と言われています。坂本織物で作られる真田紐は、豊富な柄や色、艶、風合いが融合し、他の繊維製品にはない独特な美しさがあります。しかも、しなやかで丈夫という特徴もあり、それを活かして、ネックストラップや靴紐、バッグなど現代の生活を彩る製品を日々生み出しています。



地元で作られている素材「畳縁、真田紐」のコラボにより完成したポーチ。アクセントとして真ん中に2本の真田紐が縫い付けられています。実は型崩れを防ぐ役割も果たしているそう。真田紐の持つ「大切なものを保護する、守る」という役割を改めて感じていただける製品となっています。